

地域に響く歴史の音色

薩摩川内市立高来小学校 PTA会長 今久保 達也

夏休みが始まり、私たちの住む陽成地区では、毎年八月の第三日曜日に奉納される一條神社太鼓踊りに向けて二週間の練習が始まった。

今年是小中学生と社会人の総勢二十四人の踊り子が集まり、本番へ向け毎日汗を流した。

毎年踊りに参加してくれていた子供たちは、卒業や就職で地元を離れていくため、踊り子集めに苦戦する一方で、この歴史を守るため、前々からの経験者にも声をかけ、社会人の参加も少しずつ増えてきている。

そんな中、我が家を含む三組の家族が子供たちと一緒に踊りに参加した。

最初は手取り足取り声をかけながら教えていたが、日が進むにつれて、次第に自分たちのほうから聞いてくるよう

になった。さらに、練習から帰宅し、夕食後には、去年撮影していた踊りの動画を見ながら復習をするようになり、子供たちと会話をする時間も増えていったし、それがとても嬉しかった。

二週間が過ぎ、本番の日になった。奉納当日は、「回れ回れ。」のかけ声が響く中、汗びつしよになりながらも、無事二回の奉納を終えることができた。

来年も、もっと太鼓踊りを盛り上げていきたい。そして、太鼓踊りの歴史と伝統をこ

れからも長く続けて、いつまでも地域に太鼓の音を響かせられるように、子供四人が踊りに参加する限り、私も一緒に踊り続けられるようダイエツトと体力づくりを頑張らなくてはと思っています。



いざ本番！神社の前で